



ながいともこ News

日本共産党北区議員団 〒114-8508 王子本町1-15-22

080-4429-6338 **ご相談はお気軽に!**

ブロック塀、崖地など、災害に備えた対策を!

北区は、大阪北部地震を受けて、緊急対策として学校施設や区有施設のブロック塀の点検を行いました。その結果、緊急性の高いところから対策工事、補強工事を行うことが区議会に報告されました。

区議団として、周知や注意喚起、目視による緊急点検に加えより詳細な点検を実施することなどを求めました。また、学校施設や区有施設以外の民間所有のブロック塀などについても、点検、改修といった助成を検討するよう求めました。また、土砂災害に関しては、区内の高さ2メートル以上・傾斜度30度以上の崖、擁壁3500カ所を机上で抽出調査、その内の100カ所をモデルとし、現況調査を行いました。

その結果、緊急の対策が必要な個所が2か所、明らかになりました。区は、その所有者等に対して改善に向けた啓発を実施します。

今後、3500カ所の1600カ所を占める赤羽西地域において現況調査を平成30年8月から開始し、改善に向けた対策を検討します。十分な対策になるよう、ご意見などありましたらお寄せ下さい（ながいともこ）



羽田新ルートは中止に!

羽田空港の発着回数的大幅な増便に伴い国が都心上空を低空で飛行する新ルートを計画しています。

「羽田増便による都心低空飛行計画に反対する東京連絡会」は先月、新ルート撤回を求める集会を開きました。連絡会の秋田共同代表は、署名等の運動提起とともに、首都圏が一体となって運動していくことが重要だと訴えました。新ルート下にあたる、港区、渋谷区、江東区、文京区、品川区、豊島区、目黒区、大田区、新宿区のこの問題に関する市民運動体の皆さんから、現状や撤回への取組みが報告されました。北区では、北赤羽付近を最大90機、東十条付近を最大54機、高度1200から2300メートルで通過するとしています。増便、低空での計画に、振動、騒音、落下物など区民生活への影響が心配されます。



集会で、半年で219件の部品落下発生の危険を指摘する吉良よし子参議院議員

西日本での豪雨災害。時間の経過とともに被害の大きさが明らかになっています。党区議団では、区内各地域の街頭から救援募金の呼びかけをしています。心を寄せて頂いたみなさん本当にありがとうございました。地域から、できることを皆さんとご一緒に！（ながいともこ）



UR住宅の修繕負担見直しへ

衆院消費者問題特別委員会 で日本共産党の畑野君枝議員質疑より

UR都市機構は、畳表やふすま紙などの修繕を居住者負担としてきた賃貸住宅契約について、「修繕負担区分の見直しについて検討し、必要な措置をできるだけ速やかに講じたい」と表明しました。URはこれまで、畳表やふすま紙、障子紙など81項目もの修繕について、借り主負担としてきました。国土交通省は昨年(2020年4月)の民法改正(2020年4月施行)を受けて今年3月、賃貸住宅標準契約書を改定。「畳表の取り換え、障子紙、ふすま紙の張り替え、給水栓、排水栓、LED照明の取り換え」を、これまで借り主負担としてきた表から削除しました。消費者問題特別委員会 で、畑野衆院議員が契約更新前に契約内容を変更することについてたずねると、国交省は「両者の合意がなされれば契約更新時以前に契約内容の変更は可能」と答弁。URも「そのとおり」と認めました。(2018年6月4日赤旗より抜粋)



赤羽北2丁目団地、ハイツ合わせて766戸。修繕負担区分が見直されれば居住者の負担軽減になります。

学童クラブ増築へ 浮間小学校

浮間小学校は、今年度と来年度に渡り、リフレッシュ改修工事を行います。トイレの洋式化、調理室の設備増設、図工室の流し台新設、理科室の空調新設、廊下や床のクリーニングなどです。

また、児童の急増による教室不足や学童クラブの待機児童を解消するために、校庭の一部に学童クラブ、放課後棟の増築(3階建て)を行います。説明会では、遊具の移設を希望する声がありました。



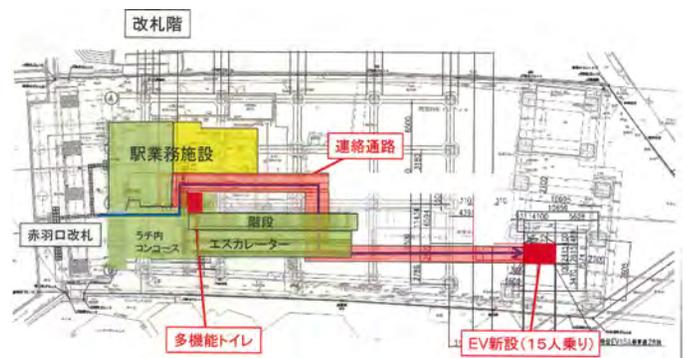
増築棟予定場所。うき穴式住居、うさ山は残ります。

2つめのエレベーター設置 北赤羽駅

住民の皆さんが待望していた、JR北赤羽駅赤羽口のエレベーター設置の工程が示されました。

今後のスケジュール

- 平成30年度 JR北赤羽駅赤羽口 詳細設計
- 平成31年度 JR北赤羽駅赤羽口 工事
- 平成32年度 完成予定



ともコラム 2回目の裁判(補助86号線赤羽西地域)

7月10日 東京地裁で行われた裁判には、傍聴、原告席合わせて97名が参加しました。この道路の事業認可に司法の判断が下されますが、住民の暮らしに寄り添った判断をと願わずにはられません。裁判ではなく、住民とともに作るまちづくりにしていくこと、まちづくりのあり方が問われています。



「くらし・環境・歴史遺産を守り未来へつなぐ会」フェイスブックですぐ検索!

最後まで、頑張ろうと東京地裁前でみなさんと